

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(18)	冬場に屋外の出かける機会がなく、グループホーム内での生活になっている。	何か屋外に出かける行事を作って外出する機会を設けたり、暖かい日には外気浴ができるように支援する。	①買い物や他の施設との交流会を開催し屋外に出る機会を作る。 ②外気浴を取り入れ天気の良い日には屋外に出る。	6カ月間
2	(14)	一日の過ごし方で、職員の声かけ、誘導が過剰になり、一人ひとりのペースに合わせた支援になっていない。	一人ひとりの声を聞き、一人ひとりのペースに合わせて日々が過ごせるよう、職員は過剰な介護にならないよう自立支援の視点から必要な支援、見守りを行う。	①24時間シートを活用して一人ひとりのペースを把握する。 ②声かけの仕方やカンファレンスの持ち方、各種データの活用方法について研修し、一人ひとりのペースにあった支援を行う。	6カ月間
3	(8)	馴染みの関係の中でも家族との関わりが年々薄れてきている。	今後の生活をどう築いていくか、重度化や看取りをどう考えているか、家族との対話を通して支援していく。	①年1回は、家族に参加してもらおうカンファレンスを開催する。 ②重度化・看取りの確認を行う。	6カ月間
4	(9)	居室担当の役割、入居者様との関わりが明確になっていない。	入居者様との関わりを多く持ち、会話等から入居者様の意向や希望を伺いサービスに反映させる。	①居室担当の役割を明確にし、関わる時間を確保する。 ②入居者様の意向や希望を聞き24時間シートに反映させ、全職員で同じ支援ができるよう情報の共有を図る。	6カ月間
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。